

しいは 議会だより

第114号

令和6年4月

発行
編集

宮崎県稚葉村議会
議会だより編集委員会
〒883-1601

宮崎県東臼杵郡稚葉村大字
下福良1762番地1
TEL(0982)67-3209
付内無料電話7-67-0091

・3月定例会 ……(2～4)
・総括質疑 ……(5)

・一般質問 ……(5～9)
・議員活動報告 ……(9～11)

・議会の動き ……(12)

(不土野小学校・卒業式)

令和6年第1回臨時会

令和6年2月14日に第1回臨時会を開催し、報告 1件、承認 2件、議案7件を可決しました。

○承認

令和5年度 補正予算

会計名	会計名	補正後の予算額
一般会計(第9号)	補正額 2,858万円	102億8,964万円
〃 (第10号)	補正額 1,270万円	103億0,234万円

補正の主な内容

- (9号) 1 ししば復活応援商品券 TSUKO-TE 給付事業 2,245万円
2 物価高騰対応重点支援臨時給付金(交通困難地域対応分) 270万円
3 更正育成医療費給付事業 231万円
(10号) 1 重点交付金事業 1,720万円

○議案

- 1、椎葉村使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例について
2、工事請負契約の締結について … 4件、工事請負変更契約の締結について … 2件

令和6年3月定例会

令和6年3月定例会が3月6日に開会、令和5年度補正予算や令和6年度当初予算、村道路線の認定、条例の制定、一部改正などの議案審議が行なわれ提案どおり議決、13日に閉会しました。
河口吉弘議員、那須重美議員が総括質疑を行い、村長の見解を求めました。
又、6名の議員(椎葉 一議員・河口吉弘議員・椎葉智成議員・蔵座二九生議員・那須重美議員・尾前秀久議員)が一般質問を行い、村長の答弁を求めました。

3月定例会で審議・議決したこと

議案番号	件 名	審議審査結果
諮問第 1 号	椎葉村人権擁護委員の候補者の推薦に意見を求めること	可決(全員一致)
議案第 8 号	令和5年度椎葉村一般会計補正予算(第11号)	可決(全員一致)
議案第 9 号	令和5年度椎葉村国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第 10号	令和5年度椎葉村簡易水道事業特別会計補正予算(第6号)	可決(全員一致)
議案第 11号	令和5年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第 12号	令和5年度椎葉村電気事業特別会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
議案案 13号	令和5年度椎葉村介護保険特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第 14号	令和5年度椎葉村後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第 15号	令和5年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計補正予算(第5号)	可決(全員一致)
議案第 16号	令和6年度椎葉村一般会計当初予算	可決(全員一致)
議案第 17号	令和6年度椎葉村国民健康保険特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第 18号	令和6年度椎葉村簡易水道事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第 19号	令和6年度椎葉村国民健康保険病院事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第 20号	令和6年度椎葉村電気事業特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案案 21号	令和6年度椎葉村介護保険特別会計当初予算	可決(全員一致)
議案第 22号	令和6年度椎葉村後期高齢者医療特別会計当初予算	可決(全員一致)

議案番号	件 名	審議審査結果
議案第 23号	令和6年度椎葉村ケーブルネットワーク特別会計当初予算 職員の高齢	可決(全員一致)
議案第 24号	者部分休業に関する条例の制定について	可決(全員一致)
議案第 25号	椎葉村会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 26号	特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 27号	椎葉村特別養護老人ホームの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 28号	椎葉村開発センターの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 29号	椎葉村物産センター及び製粉施設等の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 30号	椎葉村矢立高原キャンプ場の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 31号	椎葉村ひえつきの里キャンプ場の指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 32号	椎葉村交流拠点施設ものづくりラボスペースの指定管理者の指定について	可決(全員一致)
議案第 33号	定住自立圏形成協定の一部変更について	可決(全員一致)
議案第 34号	椎葉村ファミリーサポートセンター設置及び管理に関する条例の制定について	可決(全員一致)
議案第 35号	椎葉村介護保険条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 36号	椎葉村薬学生奨学資金貸付条例の制定について	可決(全員一致)
議案第 37号	椎葉村医学生奨学資金貸付条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 38号	椎葉村獣医学生奨学資金貸付条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 39号	椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第 40~58号	工事請負変更契約について	可決(全員一致)
議案第 59号	村道路線の廃止について	可決(全員一致)
議案第 60号	村道路線の認定について	可決(全員一致)

令和6年度一般会計予算

総額 58億1,800万円

令和6年度当初予算

会計名称	当初予算の額(万円)	前年度の予算額(万円)	前年度との比較(万円)
一 般 会 計	58億1,800万円	81億8,200万円	△23億6,400万円
国民健康保険特別会計	3億4,716万円	3億3,787万円	929万円
国民健康保険病院事業特別会計	5億1,100万円	5億1,200万円	△ 100万円
電気事業特別会計	3億0,217万円	4,946万円	2億9,100万円
簡易水道事業特別会計	1億0,131万円	8,865万円	1,266万円
介護保険特別会計	4億4,485万円	4億4,178万円	307万円
後期高齢者医療特別会計	9,922万円	7,845万円	2,077万円
ケーブルネットワーク特別会計	7,736万円	7,732万円	4万円

(千円以下切捨のため一致しない箇所所有)

(令和6年度一般会計当初予算の新規事業)

○福祉保健課関係の事務事業予算

- ・介護人材確保対策事業 374万円
- ・人工透析患者送迎サービス事業 179万円
- ・子育て支援拠点事業 365万円
- ・骨髄等移植ドナー助成事業 21万円

○農林振興課関係の事務事業予算

- ・飼料高騰対策事業 2,282万円
- ・農業水路等長寿命化・防災減殺事業 500万円
- ・森林・林業ビジョン策定事業 774万円

○建設課関係の事務事業予算

- ・県単林道網整備事業 3,000万円

○教育委員会関係の事務事業予算

- ・学校施設環境改善交付金事業 1億635万円
- ・中学校建築費 60万円
- ・地域おこし協力隊活動事業(博物館) 845万円

○諮問第1号「椎葉村人権擁護員の候補者の推薦につき意見を求めることについて」は、令和6年6月30日に任期満了となる人権擁護員法の規定により、村長諮問のとおり椎山操氏の推薦に同意した。

氏 名	住 所	任 期
椎山 操 氏	椎葉村大字下福良731番地 (鹿野遊区)	自 令和6年7月 1日 至 令和9年6月30日



- 議案第27号「椎葉村特別養護老人ホームの指定管理者の指定について」は、「社会福祉法人 清風会」とし、令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 議案第28号「椎葉村開発センターの指定管理者の指定について」は、「耳川広域森林組合」令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 議案第29号「椎葉村物産センターの指定管理者の指定について」は、「一般社団法人 椎葉村観光協会」令和6年4月1日から令和9年3月31日までとする。
椎葉村物産センター及び製粉施設等とする。
- 議案第30号「椎葉村矢立高原キャンプ場の指定管理者の指定について」は、「大河内森林ガイドの会」令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 議案第31号「椎葉村ひえつきの里キャンプ場の指定管理者の指定について」は、「一般社団法人 逞しい未来」令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 議案第32号「椎葉村交流拠点施設のものづくりラボスペースの指定管理者の指定について」は、「ベル'sプラン合同会社」令和6年4月1日から令和11年3月31日までとする。
- 議案第34号椎葉村ファミリーサポートセンター設置及び管理に関する条例の制定について
「椎葉村ファミリーサポートセンター」椎葉村大字下福良1826番地69
「旧上椎葉児童館」管理は、椎葉村長が行う。
- 議案第39号 椎葉村営住宅設置条例の一部を改正する条例について
下水流公営団地 4戸 椎葉村大字下福良122番地2(桑ノ木原)の追加。

総括質疑

村長の令和6年度施政方針及び新年度予算に対する総括的な質疑を2名の議員が行ない、村長の見解を求めました。

「総括質疑」とは、議会に提出された議案等に対する質疑。議案等の詳細な審査は予算審査特別委員会において行なわれるため、総括質疑においては、根本的なものについて行なわれる質疑。



かわぐちよしひろ

河口吉弘 議員

問1 令和6年度予算は人口減少対策、UIターン、子ども・子育て、林業振興策、高齢者福祉の充実と住宅不足解消を重点施策としている。村民が理解する形で具体的にお示しいただきたい。

答1 高齢者福祉策では、介護人材確保事業として介護職場で働く人を応援する目玉事業に取り組む。畜産については当初予算で飼料高騰対策補助金を計上して支援する。林業については、森林環境譲与税により森林整備を支援していく。住宅は下水流住宅団地の更なる整備とソフト面からの施策を充実していく。

問2 予算編成でスクラップアンドビルドを徹底するとのこと。何をスクラップしての5項目の重点施策なのか説明を。

答2 事業のスクラップは厳しい課題であるが、持続可能な村づくりのため重要なことである。

問3 国道3路線の災害復旧の遅れにより、大河内地区のせり市場出荷や松尾地区の小売店や飲食店への影響が続いている。寄り添った支援が必要ではないか。

答3 ご意見は十分に承ったとご理解いただきたい。道路災害影響緩和については、再度情報収集に取り組みできれば応えていきたい。

問4 単身住宅の入所者や家賃負担の見通しについて尋ねる。令和2年3月議会で後継者に対する住宅料助成の提案をした。後継者対策として積極的な検討をお願いしたい。

答4 単身住宅4戸を建築するのに7,000万円余、住宅料に大きな懸念を持っている。入居しやすいように何とかしていきたい。案をお聞かせいただきたい。



なすしげみ

那須重美 議員

質問 令和6年度村政運営について

問1 産業振興策として、国がスマート農業を推進している中において本村も積極的に取り入れていくと表明があった。令和6年度の予算においてスマート化の展開をしていく考えはないものか伺う。

答1 令和6年度に実証試験を実施する。

問2 村税など自主財源において、減収の予算となっている。災害復旧と地域経済活性化の両立を見据え、令和6年度についてはどのような収支バランスに配慮しての予算編成としているのか。

答2 持続可能な村を作っていくために、事業の選択は優先順位をつけて行い、不足する財源については基金を活用していく。

問3 財政調整基金について、今後、どの程度の水準で積み立てておくべきと考えているものか伺う。

答3 標準財政規模の2割以上が基本であり、本村に換算すると6億円が適正である。現状では不測の事態にそなえ約16億円を保有している。



村長に聞く! ~ 一般質問 ~

「一般質問」とは、議員が村長を権限とする執行機関に対し、村の行政全般について、政策提案や事務の執行、将来の方針などについて行なう質問。



そうざふくお
蔵座二九生 議員

質問 持続可能な農用地の維持管理について

問1 中山間地域等直接支払制度は、6年度に5期対策が終了する。現在、集落座談会を通し、地域計画の作成に向けて取り組んでいるが、村として地域政策はどう考えているのか。

答1 国の政策をそのまま村に当てはめていくことは難しいと考える。集落座談会を通じてしっかり議論を重ね、計画策定に取り組んでいく。

問2 農用地の休耕地、耕作放棄地対策について伺いたい。

答2 農作業受託者に対する農業機械の補助を拡充し、受託面積を増やしていく。耕作放棄地を発生させないように、受託組合を発展・拡充していきたい。

問3 農業委員は各地域に配置されている。地区の状況を把握し指導・助言を行いながら地

域からの要望を取りまとめ、事務局に問題提起するなど行政に働きかけをしてはどうか。

答3 行政に提言するものについては、毎月開催されている定例会を通じて各農業委員から報告をいただいている。行政からも農業委員に対して、農業者の意見を集約してもらうようお願いをしている。

問4 松尾地区の棚田は、数年前に比べ休耕地が増えたように思う。棚田保存会等の団体を作り、補助金を交付するなど支援をしなければ、農地の維持はできないのではないかと。

答4 下松尾地区は、農業用水の確保に苦勞をしている状況にある。まずは施設整備を行いたい。保存会への補助金は交付していない。再検討したい。



かわぐちよしひろ
河口吉弘 議員

質問 災害対策について

問1 今年1月1日、石川県能登半島で最大震度7の地震により津波や火災、建物倒壊による多くの犠牲者と被害が発生した。今後30年以内にマグニチュード8から9クラスの南海トラフ地震発生の可能性もあるという。村でも熊本地震では最大震度5強を観測、能登半島地震の教訓を防災計画にどう生かしていくか。

答1 能登半島では震度7の地震が2度発生したことにより家屋倒壊、地盤隆起、津波により大規模災害となった。南海トラフ地震による想定震度は震度6弱。本村は平屋の木造住宅が多く倒壊リスクは低い。地震対策は風水害対策と同じであり、交通網の確保を最優先課題とし、自助、共助により自主防災組織と消防だの連携により被害を最小限に抑える。

問2 災害は進路等が予測できる台風、豪雨災害と予測できない地震災害がある。村民の災害に対する機運を高めていくことが必要。村民に対して防災計画概要版や「地震時の心得」を配布すべきではないか。南海トラフ地震震度6弱の想定を震度7で見直すべきではないか。

答2 平成27年に防災計画概要版を全戸に配布した。基準の変化しており見直しを行い最新版の発行に取り組む。想定震度6弱は国がやること、気持ちはそこにおいて災害に対応していくことが大事。

問3 最近、日本中で群発地震が起こっている。広報誌を含めて「地震時の心得」を周知、防災機運を高める取り組みをお願いしたい。

答3 防災訓練参加や機運醸成に重きを置いて進めていきたい。

問4 村内には避難所が50箇所あるが、その内23箇所が土砂災害警戒区域にある。特に上流の天包地区では大規模山地崩壊が発生しており、避難施設の不土野小学校、校庭の旧保育所、川土井の不土野生活改善センターは災害リスクが高い。地区と協議を行い避難所の見直しを行うべきではないか。

答4 避難所をどうしていくかは1番の政策課題。避難所の安心・安全確保に今後対策を講じていきたい。天包の山地崩壊については、3月25日に大学教授、県、村で「山地災害対策検討委員会」が発足、対策を実施していくこととしている。



質問 早期の災害復旧について

令和4年台風14号により国道の早期復旧と上椎葉ダム上下流域や十根川、小丸川の堆積土砂の浚渫と除去はどうなっているのか。

問1 台風14号による国道3路線の災害復旧の目途が立っていない。県に対して強く働き

かけていただきたい。河川の土砂しゅんせつと除去の状況はどうなっているのか。

答1 国道265号線日向土木管轄は6月8日全面開通予定、西都土木管轄は令和7年3月開通目標。327号線は昨年8月の山腹崩壊により調査ボーリング等を実施、調査をもとに6年度災害復旧設計を行なうが、先の見通しは立っていない。県の迂回路指定を受けた村道松尾線の

改良を県主導で行なう。

河川堆積土砂のしゅんせつと除去については、村、県九州電力で実施中である。



しいははじめ

椎葉 一 議員

質
問

人口減少における「伝統芸能文化継承」について

問1

現在少子高齢化により地域の行事・風習・伝統が失われようとしている。

特に伝統芸能の神楽が26保存会の中で5年度は12地区での夜神楽開催となり人数減少により、神事・式三番だけの保存会が多くなり、伝統芸能継承に向けて行政協力のもとに神楽保存会が協議会をもつべきではないかと問う。

椎葉村学において、今年度は3年生～6年生が神楽・民謡を学習するが今後において発表や披露する計画・企画等はあるのか。

答1 人口減少により、5年間1回も夜神楽が実施出来なかった保存会がある。

神楽継承については神楽保存連合会で協議することが妥当と考えている。6年度補助金の増額を検討している。椎葉村学は2年目を迎え小学生は神楽・民謡を学習するが各学校で地域住民に広報し学習成果発表を行う予定である。民謡会やひえつき節保存会の方々に先生として指導してもらう。

問2 本村には、他に稗つき節保存会・臼太鼓踊り・山法師踊り・念仏踊り等先人たちが伝承してきた文化風習を残す事を考える、神楽と合わせて行政に活動支援をお願いしたい。

椎葉村学に関しては、今後の学習計画において神楽と共に笛・太鼓・セリ歌民謡についてはひ

えつき節以外の民謡も検討してほしい。

答2

神楽と同様に村指定の民俗芸能は、重要な村の宝であるので、存続継承に向けて協力して行きたいと考える。

椎葉村学については神楽・民謡共に子どもたちが、許容できる範囲の中で相談を持ちながら検討していく。

問3

夜神楽が出来ている保存会でも村外からの応援・協力により、出来ている地区もある。村外の場所での練習、遠距離からの参加等あり交通費・練習費共に増加傾向である。椎葉村全ての保存会についても補助金の見直しを今後検討してほしい。

椎葉村学については予算の増額もあり、子どもたちの学習に合わせた色々な取組みを持ち受け継ぐ、大切さの基本を学んでほしい。

答3

全ての保存会の運営上の問題点解決については存続に向けてそれぞれの団体が意見交換し存続していく為に継続して協議していくことが大切である。補助金の増額は、6年度から行う。

椎葉村学の目的は、子どもたちが椎葉村のことを理解し、村民との交流を通して子どもたちが大きくなっても、椎葉村と関わり続けようという、そんな気概を持つ子どもを育てることである。



しいはともなり

椎葉智成 議員

質
問

巨大地震における対策について

近い将来、南海トラフ地震や日向灘沖でマグニチュード8クラスの巨大地震が起きると予測され、今後30年以内に発生する確率が70～80%であると言われている。

能登半島地震や熊本地震の被害状況においては多数の木造建築物が損壊し、潰れた家の下敷きになる圧迫死が最も多かったようである。建物の耐震化に取り組む事により、犠牲者を大幅に減らすことが可能と予測できる。今後、防災や減災等、災害に強い村にするために、どのように考

えておられるかお尋ねをしたい。

問1

公共施設はすべて耐震化なのか。建築物耐震改修促進計画の進捗状況は。今後の住宅耐震化の促進、取組みの周知方法は。

答1

村が管理している、全ての公共施設は新耐震基準を満たしている。ただ、避難所を除く各地区の集会センター等は耐震強度を有していない建物もある。避難する際は気を付けてほしい。耐震化率は83.3%で目標値には達していないが、確実に近づいている。今後も新たに移行した宮崎木造建築物等耐震対策加速化支援事業を活用し耐震住宅の促進を図りたい。また、村民には区長会、組合長研修会、地域づくり懇談会に加え、やまびこ通信等でも周知を図っていく。

問2 鶴富屋敷、十根川伝建地区他、有形文化財建造物の耐震や防災対策はなされているのか。鶴富屋敷は観光の目玉でもあり、椎葉の観光では欠かせない宝である、耐震診断や耐震対策は村が行ってもよいのではないかと考えるが。

答2 村としての文化財の防災対策は、「人に対する安全性の確保」ということに加え、「文化的な価値を守る」ということに着目し、所有者と協議して支援していく。

問3 地震災害対策マニュアルやハザードマップの作成について、年配の方々は村のホームページを見ることもない方々が多数だと思う、各家庭の居間や玄関などに張れるような、簡単明瞭でわかりやすいものが出来ないものか。

答3 ハザードマップはWeb版のみで、村のホームページや登録制LINE等で観覧できる。各公民館単位の紙ベースのものは、主要な避難所、消防団機庫に掲示している。

ホームページやスマートフォンですぐに見られ

るが、こういった物に縁遠い方々も多く居ると思う、そういう情報の得られない人達にも分かりやすい方法で情報提供していけるよう改めて検討を考慮していきたい。

問4 災害時の生活必需品等の備蓄状況はどの程度そろっているのか。

答4 村の備蓄計画に基づき、品目や数量を備蓄し、食料品等の主要なものから村独自に設定したカセットコンロ等17品目について計画しているが、消費期限がある為、年次計画でローテーションしながら備蓄している。全国各地で発生した様々な災害を教訓として、真に必要な備蓄品の選定を行っていく。



なすしげみ

那須重美 議員

質問 鳥獣被害対策に伴う支援について

問1 過去の答弁で、被害対策として集落ぐるみで検証を行う。被害対策講習会を地区ごとに開催し、最重要課題として対策を講じる。ジビエの料理についても幅広く対応していくとの答弁であった。集落ぐるみでの検証結果と講習会の開催の内容結果について伺う。

答1 金網を設置する集落のみが研修を受講している。研修会は、東臼杵西部鳥獣被害防止対策協議会を構成する入郷地区3町村合同で開催している。

東臼杵西部鳥獣被害防止対策協議会が本年度で最終年度を迎えており、その後、各市町村で対策を行うことになっているので、検証等、引き続き進めていく。

問2 駆除班の減少について、大切なものとして捉え、予算編成に取り組むとしているが、どのように取組み、今後予算に反映していくものか伺う。

答2 捕獲奨励金について見直しを行う計画。

問3 ジビエ料理についての加工施設も含めた対応について伺う。

答3 新たな支援制度を設け、民間力を活かしたジビエ活用の取組みを行う。



問4 鳥獣被害防止計画に掲げて

いる猟具である猟犬について、後継者確保に努める必要があると計画が樹立されているが現状での見解を伺う。

答4 猟犬に対しての支援は難しいと判断している。捕獲報償金の見直しで負担軽減に繋がるのではと考える。

問5 駆除班以外の一般のワナ狩猟者について、なぜワナ資材購入の補助対象者にできないのか伺う。

答5 あくまでも駆除を行う者のみを対象としていて、趣味として狩猟を行う者とは一線を画くしていただいている。

問6 趣味で狩猟免許を取得するものはいないと確信する。駆除班による田、畑等の駆除がままならないので取得している現状である。補助率を変えてでも対象者とできないものか再度、伺う。

答6 ワナ猟免許登録者が駆除班に登録いただきワナ購入補助を活用してほしい。

質問 高齢者支援策、及び福祉問題について

問1 デジタル化の推進について、計画及び、施策策定に取り入れ、デジタル技術を積極的に活用していくとの答弁であった。今後の取組状況と支援について考えを伺う。

答1 集落支援員などを活用し、紙面などによるアナログ的な情報提供を行いながら、将来的には全村民がデジタル機器等によりいつでも情報を得られる状況となるよう取り組む。

問2 高齢者の移動について、どの程度、状況を把握しているものか現状を伺う。

答2 移動について、自車又は人の車が83%、バスが15%、タクシーが3%、となっている。交通手段に制約がある高齢者からいえば、バス、タクシーと回答された18%が交通弱者であると判断できる。

問3 高齢者の移動がスムーズにできる取組みを考えるべきではないか、地域性はあるものの、状況がライドシェアに近いものではと考えるが見解を伺う。

答3 国全体で議論が行われているライドシェアのような柔軟な法的緩和の状況をみながら有効な対策を検証し講じていく。

問4 移動販売業者と連携して、見守りを含めた高齢者が手軽に買い物ができる環境を創るべきと考えるが見解を伺う。

答4 商工会とその支援について検討を行っている段階である。経費的な支援について商工会を通じて、行うことで検討している。又、村の状況に適した方策を関係者と連携して取り組む。

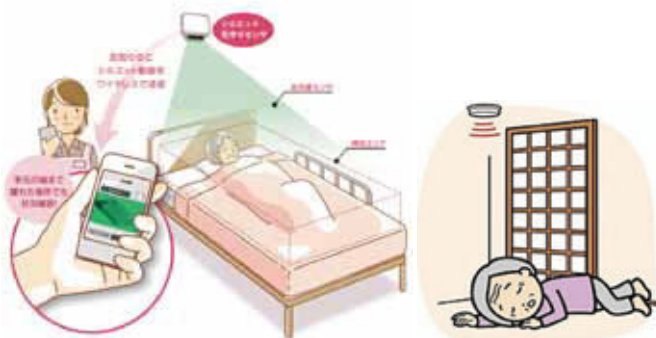
問5 高齢者の見守りについて、最も大事な支援策は安否確認で、システムの導入を早急にするべきと考えるが、どのように連携し、支援等見守りを充実していくものか伺う。

答5 日常生活の異常の早期発見について、実証事業を考えている。この事業結果を踏まえ、更に検証していきたい。

今年、実証を行い、成果を踏まえ 近いうちに導入していきたい。地域の見守り行動、様々な形で進めていく。

問6 認知症の方の家族の支援体制について、家族として一番困るのが、収入の面で不安を抱えている現状である。今後最重要課題として取り上げ、施策体制を構築していくべきと考えるが見解を伺う。

答6 一人一人違っている症状に対して、寄り添いながら傾聴し、福祉や介護の提案をしている。認知機能の低下や予防に関する情報発信にも力をいれている。



おまえひでひさ
尾前秀久 議員

質 問 高齢者住宅設置の 必要性について

問1 慣れ親しんだ椎葉で生涯生き暮らしたいと思われている、高齢者に対する地域の人達の中で、見守りのきく所での住宅の設置を望む。

答1 高齢者に対するアンケートの中で、「最期をどこで迎えたいか」の問いに椎葉でと答えられた方が57%に上りました様々な課題もあるが、今後住宅政策と生活政策が融合されることが重要と考える事から、令和6年第3期となる「まち、人、仕事椎葉村総合戦略」の策定において検討していきたい。

問2 高齢化が進む中であって必要となる政策である。用地についてもその重要性から地域住民の理解も得られるものと考え。住宅に住むことによって空き家となる持ち家を村に提供することで、サブリース事業にも利用できると考える。

答2 椎葉においてその時を迎えたい、地元に住みたいというお年寄りの考えを尊重しながら総合戦略の中で計画を立てていきたい。



議員活動報告

1月12日 日向市・東臼杵郡町村議会研修会（椎葉一議員）

1月12日議会議員研修会がベルフォートで行われた。

講師に法政大学教授土山希美枝氏を迎え「質問力を高める 議会力にいかす」を演題に研修会が行なわれた。内容の中で、一般質問は事実・分析・主張で構成される。議員が行政の政策執行に監査・提案することで間接的に制御する。政策の提起・決定・評価・行政機構を監視する事により様々な面からの信頼を得る事の重要性がしめされる。

村議会も議会力の向上・取り組み方などの必要性があると再認識させられた研修会となった。

1月24日 仔牛初セリを視察（河口吉弘議員）

1月24日に仔牛の初市が開催され、椎葉村から2日間で83頭が出場した。村平均販売価格はメスが郡平均より4万8千円高い54万3千円、去勢は郡平均より6千5百円高い56万4千円だった。

椎葉村の平均価格はメスが前回（11月）より1万3千円高値、去勢が千円高値だった。郡平均より高値で推移しているのは、優良牛導入制度や各種畜産業支援策の効果であり、飼料高騰が長期化する現在、畜産農家支援施策の充実と継続は不可欠である。



1月31日～2月1日 県町村議会議員研修会（時局講演会）（椎葉智成議員）

1月31日（火）県町村議会時局講演会が三股町文化会館にて行われた。今回は「心に寄り添う生き方～頭と心を整えて対応するとは～」と題し、人財科学研究所代表の工藤智徳先生から講演をいただいた。最近非常に増加したメンタルヘルス対策として、問題は誰にでも起きる、困りごとや悩みを一人で抱えている人へ寄り添うための方法や、あり方を、これまでの経験をもとに話をいただいた。メンタルヘルス不調が国際的に問題視される現在、その対策の重要性が高まっている。メンタルヘルスカケアが十分でない環境は人材定着の阻害要因にもなる、今回学んだ事を今後、効果的なケアを実践するために役に立てたいと思う。

2月6日 日之影町：高齢者見守りシステム事業を調査（河口吉弘議員）

産業福祉常任委員会は日之影町で実施されている高齢者見守りシステム（人感センサー）事業について調査を行ないました。

町では、一人暮らし高齢者の増加に伴い、宅内の寝室、居間、玄関に人感センサーを設置、宅内生活の見守りと外出及び帰宅時間の非日常行動のチェックによる異常行動の把握が可能となり、早期の対応が可能となるシステムになっている。一人暮らしや認知症高齢者の安全と家族の安心に繋がるシステムであり、早期の取り組みが求められる事業である。



2月21日 仲塔公民館との意見交換会（那須重美議員）

3地区目となる意見交換会が「仲塔溪谷の館」で実施された。

地区の課題として、各役員をする人がいなく厳しい、「溪谷の館」の維持費負担が厳しいとの意見が出された。

また、財木地区等、高齢者の一人世帯が多いが、区で協力しあっているのなんとか維持できている。女性として役員等しているが、地区では厳しいなどの意見も出された。

区の運営は、どこの地区でも高齢となって厳しいとの意見が多く出されているので、今後、改善を図っていくべきと感じた。



3月4日 村道認定調査（河口吉弘議員）

産業福祉常任委員会では、3月4日に村道認定予定箇所の現地調査を実施しました。路線は、石山線（佐土の谷）、旧岩屋戸線。

以上、現地調査により、石山線は県有地とあって、県との協議により、今後、対応する旨を確認した。旧岩屋戸線については、面積の追加との建設課より説明を受けました。

調査した結果、委員会としては、村道認定は適当であるとの意見で一致したところであり、議会において議決しました。

3月14日～15日 鹿児島市政務調査（コンパクトシティ「キラメキテラス」）（岡村正司議員）

鹿児島市にある都市機能集約施設（キラメキテラス）に政務調査で伺った。先ずこの施設建設に携り事業を行っている南国ビル株式会社の所長さんから説明を受け、意見交換後に施設の案内を受けた。この施設は、健康で幸せな未来を意味する「健‘幸、」の拠点と位置づけ、「世代を超えていきいきと生涯かがやくまち」を目標に、交流人口増加を目指し、滞在型外資系ホテルと商業オフィスに加え、急性期と回復期・慢性期の医療機関が連携し事業を展開されています。

1. 総合病院（急性期・慢性期）
2. 回復期病院
3. 小売店（A コープ）、オフィス
4. ホテル（シェラトン）
5. マンション
6. 駐車棟
7. エネルギー棟

各施設が2階テラスで接続されており、南海トラフ大地震の想定津波の2倍の6mの高さに設計されており津波避難ビルとしても市から指定を受けているとのことでした。

今回の調査を踏まえ、規模の格差はあるものの本村も多世代に渡って賑わう健‘幸、のまちづくり、そして安全・安心で便利な拠点づくりに取組むヒントを得たように思う。



3月15日 高齢者による配食サービス事業を調査（美郷町南郷区“渡川まんま”）（河口吉弘議員）

総務文教、産業福祉両常任委員会は美郷町南郷区（渡川地区）で取組まれている高齢者による配食サービス事業について調査しました。

平成25年から配食サービスに取り組んでいるのは、栄養士、役場OG、民生委員経験者6名の高齢者たちで、1人暮らしや高齢者世帯に週2回の配食を行なっている。高齢化と経営難を理由に週1回に縮小せざるをえない状況になってきたと話していました。

配食による食事準備の軽減と見守りなどの大きな役割を果たしています。本村においても配食サービスによる見守りの仕組みづくりにも取り組む必要性を感じました。



3月28日 鹿野遊公民館との意見交換会（那須重美議員）

鹿野遊公民館との意見交換会をふれあいセンターにおいて実施した。

梶尾区、大河内区、仲塔区に次いで4地区目となった鹿野遊区でも多数の意見、要望等を聞くことができた。

意見としては、体育館建設、避難所関連、その維持費、有害鳥獣駆除等、更には議員定数関連の意見も聞くことができた。

しっかりと受け止め、調査等を進めていきたい。



議会の動き

1月	1月4日	令和5年椎葉村二十歳を祝う会	開発センター
	5日	新春賀詞交歓会	開発センター
	6日	消防出初式	
	7日～8日	市町村対抗駅伝大会	宮崎市
	12日～13日	日向市・東臼杵郡郡町村議会議員研修会	日向市
	15日～16日	国道388号線（門川～椎葉村）整備促進に関する要望活動	福岡市
	18日～19日	椎葉五家荘線県道昇格促進期成会総会及び要望活動	八代市
	24日	子牛初セリ市視察・宮・日、夕刊ティリー 訪問	延岡市・日向市
	25～26日	例月出納監査	監査委員室
	29日	日向・東臼杵広域連合議会運営委員会	日向市
	30日	県町村監査委員協議会理事会	宮崎市
	31日～2月1日	県町村議会議員研修会	三股町
2月	15日～16日	県町村監査委員協議会定期総会	宮崎市
	2月18日	村生涯学習フェスティバル	開発センター
	20日～21日	県町村議会議長会定期総会・研修会	宮崎市
	21日	仲塔地区との意見交換会	仲塔溪谷の館
	26日	県北部広域行政事務組合議会	延岡市
	27日～28日	例月出納監査	監査委員室
	28日	第2回 議会運営委員会・全員協議会	委員会室
	29日	入郷地区衛生組合定例議会	美郷町
3月	29日	日向・東臼杵広域連合議会	日向市
	3月1日	郡町村議会議長会定期総会	日向市
	4日	産業福祉常任委員会 村道認定調査	村内
	6日～13日	第1回定例議会	議場
	14日～15日	全員協議会 政務調査	鹿児島市
	25日	小学校卒業式	各小学校
	28日	鹿野遊区 意見交換会	ふれあいセンター

椎葉村議会 テレビ (11ch) 生中継

6月定例会は6月中旬(未定)開会予定となっています。
お問い合わせは議会事務局まで
(TEL 0982-67-3209)
是非傍聴にお越しください。
議会だよりは村ホームページでもご覧いただけます。

編集後記

今年の干支は60年に1度の甲辰(きのえたつ)で、今までの努力が実を結び、これまで準備してきたことが形になる等、大変縁起の良い年になると言われています。私たち議会広報広聴特別委員会も皆様と共に躍進し、より愛される議会だよりを作れるよう頑張っておりまいます。どうぞよろしくお願い致します。

令和6年が、皆様にとりまして安寧な年であります様、ご祈念申し上げます。

議会広報広聴特別委員会 副委員長 椎葉智成